令和４年度

事　業　報　告　書

社　会　福　祉　法　人　　静　和　会

社会福祉法人静和会　令和４年度事業報告

１　法人全体の運営

令和４年度も新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けた一年となりました。全国的に感染者数の増加と減少を繰り返す中、法人内の職員や職員家族にも感染者が少しずつ出始め、施設内でも短期利用者や職員を経由した利用者の感染が発生、クラスターに発展するケースもありました。病院への入院もできず施設内での感染者対応が必要となった事から、隔離対応のため感染対策の防護服や検査キット、高性能マスク等の衛生用品、感染者と非感染者を別々に対応するため二重の職員勤務体制としたことによる人件費の増加、また、短期入所を受け入れ停止した事による減収も重なり、運営上大きな影響を受けました。

更に、世界情勢の悪化に伴う燃料等の価格高騰にも大きな影響を受け、電気・ガス・重油料金の大幅な値上げに加え、様々な物品が価格上昇した事で経営を圧迫する事態となりました。今後も引き続き職員一人一人がコスト意識を持ち、可能な限り無駄を省く事で負担軽減に努めていきます。

２　稼働状況

各施設の稼働の状況については、新型コロナウイルス感染症の影響による減少に加え特養短期入所者の施設入所等により、短期利用や通所の利用者が減少し稼働率は低下が見られました。静和園では入所者の高齢化による影響で、入院する方が増加しておりますが、入所・通所・短期の稼働率は、昨年度と同じほぼ横這いで推移しております。ただし、入所日程を決めても、入院・入所先でのクラスター発生などにより、入所日が延期になるなど、新型コロナウイルスの影響は少なくありませんでした。

全体的に稼働状況はあまり改善が図れなかった事から昨年度より一歩踏み込んだ改善方法を模索し、利用者確保に努めます。

３　施設整備

各施設とも故障個所の修繕等を適宜実施した他、第二みやま荘では令和３年２月に発生した福島県沖地震における災害復旧工事に対し補助金の交付が決定した事から工事を実施しました。知楽荘及びひまわり倶楽部では送迎用車両の新規購入、静和園ではこれまでボイラー設備を使用した暖房を使用していましたが、障害福祉施設の原油価格・物価高騰等緊急対策投資促進事業補助金を活用し、ボイラー設備を廃止し空調設備としてエアコンを各所に設置しました。

４　職員関係

職員については依然として確保が難しい状態が続いているものの、ハローワークや職員の紹介、派遣業者を活用しながら確保に努めたところ、年度当初不足していた介

護職員は充足でき、安定した運営を行える人材を確保する事が出来ました。また、職員定着のため介護報酬の特定処遇改善加算を財源とした賞与のほか、ベースアップ等加算を活用した給与のベースアップを実施するとともに、可能な限りオンライン研修等に参加しキャリアップの機会提供を図りました。また、資格取得の奨励により新たに職員４名が介護福祉士資格を取得しました。

令和４年度　事業報告
法人本部

【令和４年度総括】

令和４年度は新しい職員体制の下でのスタートとなったが、理事会評議員会や監事監査の開催、人材管理や各種の届出等の事務業務、経営管理体制の構築等遅滞なく遂行する事ができました。

運営面では経営状況の改善を目的に給食業務委託の市場価格調査として入札の実施や紙おむつの経費削減のため「東北のかいご協同組合」へ加入し、組合価格で安価に購入できる体制を整備しました。燃料価格高騰や物価高、電気料金の大幅値上げ等法人運営上大変厳しい状況となっていますが、職員一人一人がコスト意識を持ち、可能な限り無駄を省いた運営を行うよう会議等を通して各職員へ周知や意識付けに努めました。

人材面では新卒採用を含め１８名を採用、１１名が退職しました。年度当初不足していた人材を確保する事ができ、安定した運営体制を確立する事が出来ました。また、「東北のかいご協同組合」の加入により、外国人技能実習生を受け入れる事が可能となりましたが、法人の運営状況や受け入れ態勢の構築のための準備に期間を要する事から引き続き情報収集を行いながら受け入れ態勢について準備を進めていきます。

【事業報告】

１　理事会評議員会及び監事監査

（１）理事会

開催年月日	決　議　事　項
令和４年６月１日	事業報告、計算関係書類及び財産目録の承認並びに監事監査報告、 育児介護休業規則改正、電力供給契約、定時評議員会招集
令和４年 12 月 14 日 決議の省略	補正予算、給与等規則改正、就業規則改正、準職員就業規則改正、 給食業務委託契約、車輌購入契約、資金借入
令和５年３月 15 日	補正予算、事業計画、当初予算、空調機更新工事契約、災害復旧工事契約 ナースコール設備更新契約

（２）定時評議員会

開催年月日	決　議　事　項
令和４年６月 22 日	計算関係書類及び財産目録並びに監事監査報告書の承認、事業報告

（３）監事監査

開催年月日	監 査 内 容	指 摘 事 項
令和４年５月 23 日	事業報告書内容確認 決算書内容確認	特になし
令和５年２月 13 日	運営状況・処遇状況確認 現金取扱状況、会計処理方法等確認	特になし

２　経営状況の把握と改善

月ごとの収支状況や稼働状況把握のため、各施設の試算表や帳簿を定期的に確認すると共に、施設長会議で各施設の運営状況を確認し現状把握や改善に努めました。

３　人事管理

職員の採用にかかる施設見学や面接の対応の他、職員の状況に応じた働き方の相談等に随時対応しました。また、産休育休や病休の手続き、退職者の手続き等遅滞ないよう努めました。

４　給与及び総務業務

職員への給与賞与の支給額計算や各種手当の確認及び認定を行いました。また加入している各種団体の加入更新手続きや障害者や高齢者の雇用状況調査等の対応、保険契約の更新や表彰対象者の推薦等漏れのないよう行いました。

５　法制度改正等の情報収集と対応

様々な法改正に対応するため対応が必要なものがないか等情報収集を行いました。令和４年度はインボイス制度と電子帳簿保存法が大きな法改正としてありましたが、確認した結果対応不要との結論に至りました。また、社会保険において短時間労働者に対する適用拡大により当法人が対象となった事から必要な手続きを行いました。

６　医療機関や関連施設、官公庁等との連携

協力医療機関となって頂いている宮城病院の医師や嘱託医による定期的な往診により利用者の現状を相互に把握し、体調の変化や緊急の際に迅速に対応できるよう連携に努めました。また、福祉業界を取り巻く現状の把握のため加入団体が開催する各種研修会に参加し情報収集に努めました。

７　人材の確保と定着

定期昇給や処遇改善加算を活用した賃金のベースアップ等の待遇面向上のほか、資格取得奨励や研修参加等の自己研鑽の機会提供により職員のキャリアアップを図り、魅力ある働きやすい職場づくりに努めました。また、新卒者採用のため高等学校や専門学校へ求人票を提出したところ２名が見学に応募、１名を新規学卒者として採用する事が出来ました。

今後更なる人材難に陥る事を見越し検討を進めていた外国人技能実習生については、他法人に採用となる見込みの実習生や研修施設の見学実施、受け入れのため必要となる資格等を確認しました。法人としての受け入れ態勢や経営状況を鑑み、今後も慎重に検討していきます。

【活動報告】

月	業務内容
4	障害者雇用状況報告（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構） 加入者情報更新手続 （宮城県民間社会福祉振興会、福祉医療機構、福利厚生センター）
5	監事監査（決算） 消費税確定申告
6	理事会・定時評議員会開催 財産登記（法務局） 労働保険年度更新手続き（労働局） 高年齢者雇用状況報告・障害者雇用状況報告（労働局） 宮城県知事表彰推薦状提出
7	健康保険厚生年金保険算定基礎届提出（日本年金機構） 防災会議開催
8	職員任意労災保険更新手続き
9	自動車保険更新手続（あいおいニッセイ同和損保） 新卒者採用試験 外国人技能実習生研修センター視察
１０	自動車使用状況報告（県税事務所）
１１	給食業務委託入札
１２	理事会開催 職員給与年末調整
1	給与支払報告書提出（各市町村） 給与所得の源泉徴収票等の法定調書提出（税務署）
2	監事監査（中間） 火災保険更新手続き（ＡＩＧ損害補償）
3	理事会開催 山元町通所型サービス事業入札参加※ひまわり倶楽部
毎月	施設長会議 会計書類検査 慰霊碑清掃及び献花

令和４年度　事業報告
特別養護老人ホームみやま荘（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

【令和４年度総括】

令和４年度は新型コロナウィルス感染症が施設内で発生・拡大した事により、対応職員の人件費や感染予防のための防護服や抗原検査キット等の衛生備品購入により経費が大きく増加した。また、長期の入所者は予算通りだったが、短期は入所者の減少で総体的に収入が減少し収支は大きく悪化した。

人材面では園長の交代等新たな職員体制でのスタートとなったが、不足していた介護員や相談員も充足され、遅滞なく業務にあたることができた。また、職員資質向上のため資格取得を奨励し、職員１名が新たに介護福祉士資格を取得した。更に、次年度に向け法人内で介護福祉士資格取得のための実務者研修を行えるよう環境を整備し、より資格取得がしやすい体制を整備した。

施設整備としては、経年劣化により破損した床下配管の修繕や故障した個浴リフトやエアコンの更新等、都度必要に応じ修繕や購入を行った。

【事業報告】

１　利用の実績

・長期入所

利用者数：延べ１７，３２２名、１日あたり４７．５名、稼働率９４．９％

年　　齢：男性平均８４．９歳、女性平均８９．９歳、男女平均８９．０歳

介 護 度：平均介護度３．６

市町村別：山元町４２名、亘理町４名、相馬市３名

入 退 所：入所者１８名、退所者１９名（死亡退所１７名、その他２名）

待機者数：１１２名（令和５年３月 31 日現在。昨年比２７名減）

・短期入所

利用者数：延べ６，０８１名、１日あたり１６．７名、稼働率８３．３％

多床室延べ 2,653 名　平均 7.3 名、ﾕﾆｯﾄ延べ 3,428 名　平均 9.4 名

新規契約者数４１名、緊急短期受入数３名

年　　齢：男性平均８０．８歳、女性平均８９．９歳、男女平均８８．０歳

介 護 度：平均介護度３．３

市町村別：山元町３３名、亘理町５名、南相馬市１名

２　サービスの向上

（１）介護サービスの充実

コロナ禍で制限のある生活の中でも楽しみや笑顔で生活して頂けるよう、行事や活動を施設内にて実施した。※詳細は活動報告参照

個別のケアプランに基づいた支援を実施し、ＡＤＬの維持向上に努めた。

（２）健康の維持管理

日々の検温や体調観察の他、定期的な健康診断や嘱託医の健康相談・協力病院医師の月２回の往診等により健康状態の把握や異常の早期発見に努めた。

（３）食事サービスの充実

個々の栄養状態や食形態に合った対応を行うとともに、季節感のある食事を提供した。給食委託業者とは定期的な会議により情報の統一や連携強化を図り、一丸となってよりよい食事提供に努めた。

実施食数：年間食数６６，４９０食、月平均５，５４１食、１日平均１８２食

食 材 費：７６３円（税込一人当たり）※おやつ、トロミ剤含

栄 養 量：下表の通り

	エネルギー	蛋白質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	食塩
							A	B1	B2	VC		
	Kcal	g	g	g	mg	g	μg	mg	mg	mg	g	g
一般食目標量	1,500	63.0	33～42	188～244	650.0	7.0	650.0	0.90	1.10	100.0	17.0	7.0
実　績	1,535	57.0	38.5	231.3	630.0	6.5	629.0	1.09	1.13	93.0	11.9	6.6

（４）看取り介護（長期）

令和４年度は１１名の入所者の看取りを行った。内部の勉強会により看取りについての基礎知識を学び、入所者や家族に寄り添い、意向に沿った最期が迎えられるよう支援に努めた。

（５）地域福祉と在宅支援（短期）

在宅で家族の介護を行っている方の介護負担軽減のため短期入所の受け入れを行った。利用中には長期入所者との交流や行事への参加等、生活リハビリを行い楽しみながらＡＤＬ維持を図れるよう努めた。また、施設としての専門性を活かし、身体状況の変化や各種相談に対し迅速に家族等へ繋ぐ役割を行い、質の良いサービス提供に努めた。

３　安全対策

（１）介護事故

事故７５件

（転倒等４８件、表皮剥離１６件、服薬ミス６件、異食２件、その他３件）

令和４年度は転倒等の事故が昨年より２件少なく、時間帯は昼（日中）、場所は居室が最も多く発生した。傾向や対策をその都度、事故等対策委員会を開催し再発防止に努めた。

（２）感染症

新型コロナウィルスの発生予防や感染拡大防止に努めたが、８月と１１月に感染者が発生し１１月は感染が拡大しクラスターになってしまった。今回の経験を教訓に、新たな感染が発生しないよう感染対策を徹底し発生防止に努めた。

また、インフルエンザや新型コロナウィルスの予防接種を実施した。

（３）防災、防犯対策の強化

定期的に防災設備点検や総合防災訓練を実施した。また、内部研修として防災について学ぶ機会を設け、職員の防災意識の向上に努めた。

４　資質の向上

（１）研修　※詳細は活動報告参照

内部及び外部の研修について職員の経験や技能に応じ可能な限り参加した。

（２）資格取得

自己研鑽やサービスの向上のため業務に関連する資格取得を奨励した。令和４年度は１名が介護福祉士に合格した。

５　施設設備の整備

（１）固定資産物品の購入

パソコン１台、個浴リフト１台、エアコン４台、冷凍庫１台、冷蔵庫１台、ガス給湯器１台

（２）修繕

床改修工事、屋根雨漏り修繕工事等

６　その他

（１）災害復旧費補助金

令和３年２月に発生した福島県沖地震における災害復旧工事への補助金申請について、ヒアリングが実施され補助額が決定、交付を受けた。

（２）高齢者施設エネルギー価格高騰対策事業補助金

宮城県より、エネルギー価格及び物価高騰下における高齢者施設の安定的な介護サービスの支援を目的として申請を行い交付を受けた。

【活動報告】

１．行事

月	行　事	行事食
4	お花見	桜花膳・昭和の日膳
5	春季ゲーム大会	八十八夜膳・おふくろ御膳
6	出前	おやじ御膳・紫陽花御膳
7	夏を楽しむ会	七夕膳・土用丑の日膳
8	スイカ割	迎え火膳
9	長寿を祝う会	長寿お祝い膳・お月見御膳
１０	秋季ゲーム大会	秋の味覚膳・芋煮膳
１１		立冬膳・千歳御膳

１２	クリスマス会	クリスマス膳・冬至膳 年越そば
1	正月遊び	正月（おせち） 新年御膳・七草粥
2	節分豆まき	節分膳
3	雛まつり	雛御膳・先どり膳
通年	お楽しみ会、ティータイム、わいわいごはん、粥の日、誕生会	

２．研修

月	研修（外部）	研修（内部）
4	県老施協新任職員研修Ⅰ（WEB 研修）	施設における高齢者虐待について
5	介護職員初任者研修（仙台市） 県老施協新任職員研修Ⅱ（Web 研修）	安楽な体勢（ポジショニングについて）
6	介護職員初任者研修（仙台市） 県老施協新任職員研修Ⅱ（Web 研修） 優良危険物取扱事業所表彰式（仙台市）	感染予防１（食中毒・感染予防）
7	介護職員初任者研修（仙台） 塩釜保健所岩沼支所管内栄養士会（Web 研修）	看取りケアについて
8		リスクマネジメント１
9		心配蘇生法・AED の手順を学ぶ
１０	安全運転管理者講習（岩沼市）	吸引・胃瘻について
１１	亘理地区防災安全協会視察研修（石巻市） 県老施協新任職員研修Ⅰ（WEB 研修）	食について（食に関する意識を深める）
１２		感染予防２（緊急時の対応と感染対策の強化）
1		認知症と向き合う
2	虐待防止対策ネットワーク会議（山元町）	防災について知識を高める
3	介護保険事業等従事者研修（山元町） 地域包括ケア推進会議（山元町） 感染症予防対策セミナー（名取市）	リスクマネジメント２

３．実習等受入

月	内容	人数
9	実習受け入れはなかったが、山元中学校に出向し生徒に職業講話を実施	

令和４年度　事業報告
特別養護老人ホームみやま荘（指定居宅介護支援事業所）

【令和４年度総括】

令和４年度は新型コロナウィルスの流行状況に応じて、利用者宅への訪問やサービス担当者会議の開催などにおいて、感染予防に留意しながら、利用者一人一人の意向に沿って、居宅における生活が維持改善できるように、サービス事業所、医療機関、市町村、包括支援センターなどと連携しながら居宅介護支援業務を行った。

また令和５年１月には居宅介護支援事業所を管轄する山元町保健福祉課による実地指導を受け、計画書、記録、マニュアル等各種書類のチェックを受け、改善事項などの指摘はなく無事に終了した。

事業実績としては下記の通りで、目標値達成まで僅かに及ばなかったが、実地指導で助言を受けた人員基準 35 名は上回っている状況にある。

引き続き安定した事業を継続できるように、制度改正や各種サービスの変化に的確に対応をするための情報収集と関係機関との連携に努める。

【事業報告】

１　利用の実績（月の利用者数）　　基準日：令和 5 年 3 月 31 日

利用者数：年間延べ４５７名

月 平 均：月３８．１名

目　　標：月３９．０名　稼働率　９７．６％

人員基準：月３５．０名　稼働率　１０８．９％

年　　齢：平均年齢　８６．２歳

介 護 度：平均介護度　２．７

男女割合：男性９名　女性３０名

新規利用：１４名

利用中止：１６名　（施設入所：４名、医療機関：１名、死去１１名）

２　サービスの向上

（１）利用者の心身の状況と置かれている環境を正確に把握し、課題を分析して個々のニーズを的確にとらえ、自立支援と重度化予防の視点を持ち、ケアマネジメント業務を遂行した。

（２）法令を遵守するとともに、個人情報の取り扱いに留意し、情報提供、情報の公表を行い、説明責任を果たすよう努めた。

（３）サービス事業所、医療機関、市町村、包括支援センターなどと情報交換、連携することで、各種制度改正、加算要件の変更などに的確に対応し、円滑かつ安定したサービス提供を行った。

３　安全対策

（１）新型コロナウィルス感染状況に応じて利用者宅への訪問、サービス担当者会議の開催などを調整、感染予防を優先し直接対面することを極力少なくするように、電話連絡、文書報告なども活用して対応した。
また、ケアマネジャー自身が感染源とならないように三密を避け、手洗い、マスク着用、換気、体調管理を徹底して行った。

（２）新型コロナウィルスワクチン接種において、山元町からの要請を受け集団接種会場にて、予診確認、誘導等の業務を行い、感染拡大抑止に微力ながら貢献した。

（３）感染者数の増加に伴い、利用者とその家族内でのコロナウィルス感染は数回見られており、その都度、各事業所、医療機関、その他関係機関と連携して対応することで、感染拡大までには至らずに済んでいる。

（４）施設における日常防災点検を毎月実施、また総合防災訓練にも参加している。内部研修にて、防災について学ぶ機会を設け、職員の防災意識向上に努めた。

４　資質の向上

（１）研修等
内部及び外部の研修、勉強会等について可能な限り参加し、専門職としての資質の向上に努めた。

月	研修等（外部）	勉強会（内部）防災訓練等
4		
5	山元町居宅介護支援事業所連絡会 亘理郡介護事業所連絡会役員会	
6	宮城県老施協 21 世紀委員会（ｵﾝﾗｲﾝ）	総合防災訓練
7	山元町居宅介護支援事業所連絡会	
8		
9	山元町居宅介護支援事業所連絡会	救急救命について勉強会
１０		総合防災訓練 原子力防災訓練（連絡訓練）
１１	宮城県老施協 21 世紀委員会	
１２	東北ブロックｶﾝﾄﾘｰﾐｰﾃｨﾝｸﾞ（ｵﾝﾗｲﾝ）	
1	山元町居宅介護支援事業所実地指導 山元町居宅介護支援事業所連絡会 権利擁護研修会	
2	介護保険サービス事業所集団指導（ｵﾝﾗｲﾝ）	防災について勉強会
3	山元町居宅介護支援事業所連絡会	

令和４年度　事業報告
山元町デイサービスセンター知楽荘
（通所介護、日常生活支援事業（総合事業））

【令和４年度総括】（要支援１、２　要介護１～５までの方）

山元町指定管理制度により令和２年度から令和６年度までの５年間指定を受け事業を実施しております。

在宅の要介護者に対し介護保険制度の趣旨に沿い、利用者が可能な限り在宅において安定した生活が送れるように介護保険事業者、地域の関係機関及び家族との連携を図り、各種のサービスを提供し個々のＡＤＬの向上や残存機能の維持、自立支援や生活の質の向上を図り援助を行いました。

今年度は利用者増を目標としておりましたが、新型コロナウイルスの影響により利用率が昨年にも増して減少する結果となりました。4 月、5 月のスタートは復調の兆しも見えましたが、その後、町内での新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い利用控えや施設としての安全対策の強化により利用率の安定しない一年となりました。

【事業報告】

１　利用の実績

利用者数：延べ４，７９７名、１日平均１５．６名　稼働率６２．３％

臨時休業：９月２０日（台風１４号の接近に伴い）

年　　齢：男女平均８６．９歳

新規登録利用者：男性１２名　女性１０名　計２２名

退所利用者：男性７名　女性１２名　計１９名

登録人数：男性１５名　女性４５名　計６０名

※要介護者５９名　要支援（総合事業）１名

２　サービスの向上

（１）介護サービスの充実

コロナ禍で制限のある中、楽しみや笑顔で利用して頂けるよう、行事や活動を実施した。新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの受け入れ無し。

※詳細は１．行事参照

個別のケアプランに基づいた支援を実施し、ＡＤＬの維持向上に努めた。

（２）健康の維持管理

健康状態の観察（血圧、脈拍、体温の測定）等により、体調の変化の早期発見と疾病の予防に努めた。

必要に応じ、服薬の援助、処置等の実施。緊急時には応急処置及び医療機関並びに家族様との連携を図りながら敏速な対応に努めた。

（３）食事サービスの充実

個々の利用者の状態に合わせた食事の提供や行事食等の提供に努め、季節の旬の食材や食事に合わせた器で提供する事で、普段とは違う食事に皆様が喜ばれていた。

実施食数：年間４，７４２食

食　　費：６１２円／日（税込）

３　安全対策

（１）介護事故及びヒヤリハット報告

事故８件　内訳（転倒１件、その他６件、車輌関係１件）

ヒヤリハット３２件

（２）感染症

朝のお迎え時に利用者様の体調確認（検温）を実施した。

インフルエンザ、感染性胃腸炎、３７．５℃以上の熱がある方や家族様で同様の症状がある場合は休んで頂くように促した。

施設に入る際は手洗い・アルコールによる手指消毒の実施を行い感染予防に努めた。

※新型コロナウイルス感染者・インフルエンザ感染者なし。

（３）防災、防犯対策の強化

定期的な防災訓練を年３回実施し防災意識の向上に努めた。

防災設備点検を年２回実施した。

（４）送迎サービス

利用者様の安全を第一に考え車内にはバイタル機器（体温計・血圧計・血中酸素計）を設置し、走行時における身体観察や見守りを徹底した。

また、気象状況、自然災害に応じ安全な送迎に努めた。

４　資質の向上

（１）研修

外部研修については新型コロナウイルス感染対策を講じながら参加した。

※詳細は２．研修参照

内部研修については毎月の職員会議を利用して行い情報の共有に努めた。

５　施設設備

（１）令和４年３月１６日発生した地震による修繕等

ホール天井復旧工事・機械室（ボイラー配管・照明器具）交換工事

一般浴槽循環漏水仮復旧工事

（２）老朽化による修繕等

機械室（貯湯槽清掃・安全弁交換）整備、通報装置・消火器９本更新

機械室（給湯二次ポンプ）漏水工事、中間浴槽(リフト浴)用座面交換修理
※ 山元町と競技しながら修繕を実施しました。

【年間特別行事】

１．行事

月	行　事	行事食
4	お花見	桜花膳
5	職員による歌・踊り等	母の日　おふくろ御膳
6	お楽しみドライブ	父の日　おやじ御膳
7	海風ドライブ	七夕膳
8	夏祭り	夏のスタミナ膳
9	敬老を祝う会	長寿お祝い膳
１０	運動会	秋の味覚膳
１１	紅葉狩り	千歳御膳
１２	クリスマス・忘年会	クリスマス膳
1	新年会・神社参拝	新年御膳
2	節分	節分膳
3	ひなまつり	春先どり膳

２．研修

月	研修（外部）	実施場所
8	危険物取扱保安講習	岩沼消防署
10	安全運転管理者等法定講習	岩沼市民会館
11	亘理地区防災安全協会(研修視察)	みやぎ東日本大震災津波伝承館
11	普通救命講習	亘理中央公民館

令和４年度　事業報告
ひまわり倶楽部

【令和４年度総括】

山元町との業務委託契約に基づき、総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）における基準緩和された通所介護サービス「通所型サービスＡ型」として受託運営を行いました。当期もこれまで同様新型コロナウィルス感染症の影響により利用控えや休止の方が多かった事や新規利用契約者が少なかった事、介護への移行による利用終了が多く稼働は前期とほぼ同程度となりました。山元町担当者や地域包括支援センター担当者への声がけを引き続き行いながら積極的に自分たちから利用者紹介を促し、稼働を向上できるよう努めて行きます。また、利用者の身体状況の低下が見られ、普通乗用車での送迎が難しくなってきていた事から、送迎用の車両を新規で購入しました。乗り降りしやすいステップや手すりが設置された福祉車両を導入した事で、より安全安心かつ効率的なサービス提供が可能となりました。

【事業報告】

１　利用の実績

利用者数：延べ１，７１１名、１日あたり７．１名、稼働率５９．１％

営業日数：２４１日

利用増減：新規利用開始者７名、利用終了者１２名

２　サービスの向上

（１）生活機能の維持向上

手芸やカレンダー制作、軽体操やゲーム、外出を通して楽しく体を動かす機会を多く設け、和みの場でありながら介護予防につながるよう支援しました。また、隣接の特養施設と同じ昼食メニューを弁当として提供することで、栄養バランスの取れた季節感のある美味しい昼食を提供し、栄養状態の改善も図りました。

（２）健康管理

利用時に検温や体調確認を行い、健康状態の把握と異常の早期発見に努めました。楽しく交流できるような楽しく話しやすい雰囲気作りを行い、孤独感の解消や精神的ストレスの解消を図りました。また、新型コロナウィルス感染症対策として常時マスク着用と手指消毒、アクリル板の設置により感染対策も可能な範囲で実施しました。

（３）利用者の状況やニーズの把握

元気な利用者様が多い事から、可能な範囲で外出や外食、やりたい事等要望に応えた対応を行いました。また、ご自宅での困りごと等の相談に対しては地域包括支援センターやご家族へ繋ぐ役割を担い、連携した対応に努めました。

３　安全対策

（１）事故・ヒヤリハット

当期の事故は１件、ヒヤリハットは０件でした。事故の１件は転倒であり、幸い痛みや外傷はなかったものの、事故について検証検討を行い、同様の事故が発生しないよう努めていきます。

（２）災害対策

地震や火災等想定可能な災害について、それぞれのケースにおける発生時の対応について意見交換やシミュレーションを行い、対応の確認を行いました。

４　資質の向上

職員の資格取得奨励やキャリアップのための各種研修会への参加を推奨した。職員の人数が限られている事から研修等への参加は難しかったが、引き続き参加が可能な研修会には積極的に参加するよう努めていきます。

５　施設設備の整備

歩行不安定な利用者が増えてきている事から、手すりやステップがついた送迎用の福祉車両を１台購入しました。

【活動報告】

月	行事等実施内容
４	お城見学、お花見ドライブ、ショッピング
５	新緑ドライブ、野菜の苗植え
６	外出ショッピング
７	田んぼアート見学、紫陽花ドライブ、七夕飾り製作
８	夏祭り、外出ショッピング
９	菊花展見学、外出ショッピング、花の苗植え
１０	運動ゲーム大会、菊花展見学、外出ショッピング
１１	紅葉狩りドライブ
１２	クリスマス忘年会、外出ショッピング
１	新春ゲーム、初詣参拝、外出ショッピング
２	外出ショッピング
３	お花見ドライブ、外出ショッピング
他	随時：外食・テイクアウト昼食 毎月：カレンダー制作

令和４年度　事業報告
障害者支援施設　静和園
（施設入所支援・生活介護・短期入所・計画相談）

【令和４年度総括】

令和４年度は新型コロナウィルス感染症に職員やその家族が感染したことによる人員不足が発生した事により、対応職員の人件費が増加となりました。幸いな事に施設内での感染には繋がらず、通所・短期入所も含めた利用者での感染者が発生することはありませんでした。

また、施設入所利用者の高齢化により入院が多くなり、そのまま治療の為、入院継続となったり、死亡するケースが多かった為、新たに入所しても、利用者の増加に繋がらない状態となってしまいました。

人材面では不足していた生活支援員は充足されず、次年度以降への課題となった。

施設整備としては、暖房設備を重油ボイラーで行っていたが、重油価格の高騰でコストが嵩んでおりました。加えて、ボイラーとその燃料を保管する重油地下タンクも経年劣化による修理費等のコストが生ずる状況だったため、補助金を活用し、高効率な空調機器を導入した。

【事業報告】

１　利用の実績

・施設入所支援（居住支援　17：30～8：30）　定員５０名

利用者数：延べ１５，１１９名、１日あたり４１．４名、稼働率８２．８％

年　　齢：男性平均６１歳、女性平均６０歳、男女平均６１歳

介 護 度：平均障害支援区分４．４

市町村別：仙台市６名、名取市２名、角田市２名、岩沼市３名、山元町２名
亘理町７名、柴田町２名、新地町１名、相馬市６名、
南相馬市３名、丸森町３名
登米市、大河原町、蔵王町、大和町、南三陸町、奥州市　各１名

入 退 所：入所者５名、退所者５名（死亡退所３名、その他２名）

待機者数：２１名（令和５年３月 31 日現在。昨年比０名）

・生活介護（日中活動　8：30～17：30）　定員６０名（内通所１０名）

利用者数：延べ１２，５５３名、１日あたり４８．１名、稼働率８０．２％

年　　齢：男性平均５３歳、女性平均４７歳、男女平均５１歳

介 護 度：平均障害支援区分４．１

市町村別：施設入所支援に以下を追加
角田市１名、山元町８名、亘理町６名、柴田町１名、新地町２名
相馬市２名、村田町１名

・短期入所　定員４名

利用者数：延べ７５５名、１日あたり２．１名、稼働率５１．７％

新規契約者数３名、緊急短期受入数１名

年　　齢：男性平均５４歳、女性平均５３歳、男女平均５３歳

介 護 度：平均障害支援区分４

市町村別：山元町６名、亘理町２名、相馬市２名、新地町２名、角田市１名

・計画相談

利用者数：延べ５３名

契約者数２８名

年　　齢：男性平均４９歳、女性平均５２歳、男女平均５０歳

介 護 度：平均介護度４

市町村別：山元町２名、亘理町９名、岩沼市３名、丸森町３名、仙台市３名

新地町２名、

名取市、登米市、大河原町、村田町、大和町、相馬市　各１名

２　サービスの向上

（１）介護サービスの充実

昨年に引き続きコロナ渦で制限のある中、感染対策や新しい形での施設行事を実施し、利用者の皆さんが少しでも潤いのある生活を送って頂けるよう努めた。

また施設での虐待防止・権利擁護や身体拘束等の適正化に係る取り組みが義務化され、体制の整備や職員の資質向上に努めた。

（２）健康の維持管理

利用者の加齢に伴う健康不安は年々確実に多くなっているように感じられる中、より丁寧な健康状態の把握に努めた。

（３）食事サービスの充実

個々の栄養状態や食形態に合った対応を行うとともに、季節感のある食事を提供した。給食委託業者とは定期的な会議により情報の統一や連携強化を図り、一丸となってよりよい食事提供に努めた。

実施食数：年間食数４９，９８９食、月平均４，０８２食、１日平均１３５食

食 材 費：８０７円（税込一人当たり）※トロミ剤含

栄 養 量：下表の通り

	エネルギー	蛋白質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	食塩
							A	B1	B2	VC		
	Kcal	g	g	g	mg	g	μg	mg	mg	mg	g	g
一般食目標量	1,867	77.0	52	268	750.0	7.0	820.0	1.20	1.40	100.0	19.0	6.9
実　績	1,882	67.5	48.8	280.6	514.0	7.6	523.0	0.89	0.94	77.5	13.7	7.7

（４）地域福祉と在宅支援（短期・通所）

家族の入院等による介護者不在時や日常的な介護負担軽減を目的として、短期入所の受け入れを行った。家族の高齢化や認知機能の低下により、自宅生活に支障をきたしている利用者には、相談支援事業所や地域包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら対応し、安心して自宅生活を続けていけるよう努めた。山元町緊急短期入所支援事業で１件の要請があり、受け入れを行った。また、家族から虐待を受けている利用者の保護として長期的な受け入れを行った。

地域で生活している障害者の生活を守る為、感染対策を行いながら継続した受け入れを行い、リハビリや作業、グループワーク、季節の行事等への参加を通し、運動の機会や他者交流の場が提供できるよう努めた。

３　安全対策

（１）介護事故

事故５件

（骨折１件、誤嚥１件、服薬ミス１件、その他２件

ヒヤリハット５８件

（転倒４１件、薬関係５件、食事関係３件、その他９件）

発生場所は居室が最も多く、次いで廊下、トイレとなっており、時間帯は１５時～１８時までに約 50%が発生していた。

（２）感染症

毎日の検温や体調不良の早期発見に努めながら、発熱や嘔吐された方の感染予防に努めた。

また、新型コロナウイルス感染抑止に向けた取り組みを継続し、利用者の感染を予防することができた。

（３）防災、防犯対策の強化

定期的な防災設備点検や定期的に実施する総合防災訓練、内部研修として防災について学ぶ機会を設け、職員の防災意識の向上に努めた。

４　資質の向上

（１）研修

内部及び外部の研修について職員の経験や技能に応じ可能な限り参加した。

※詳細は活動報告参照

（２）資格取得

資格取得はおりませんでした。

５　施設設備の整備

（１）固定資産物品の購入

業務用冷凍冷蔵庫１台

業務用冷冷蔵庫１台

電動ベッド２台

作業室業務用エアコン２台

食堂業務用エアコン２台

管理棟廊下業務用エアコン２台

食堂テレビ（60 型）１台

事務室エアコン１台

Airdog（空気清浄機）１台（24 時間テレビ寄付）

（２）修繕

期間	内容	業者名
2022/5/16～ 2022/7/10	令和４年福島県沖地震復旧工事	齋藤工務店
2022/5/14	非常口誘導灯交換工事（LED へ）	大光電気
2022/5/17	厨房水栓金具交換・訓練棟男子トイレつまり修繕	松村工業所
2022/6/3	中央トイレ下水用排水ポンプ交換工事	松村工業所
2022/6/22	厨房用　冷凍冷蔵庫更新	ホシザキ東北
2022/7/9	101 号室エアコン修理	大光電気
2022/8/7	正面玄関非常口誘導灯交換工事（LED へ）	アサヒ製作所
2022/8/19	男子トイレ蛍光灯交換（LED へ）	遠藤電気
2022/8/25～ 2022/8/26	厨房ガス配管更新工事	菊長商店
2022/9/5	漏水検査　正面玄関東側漏水修理	木村工事
2022/9/10	男子・女子トイレ　フラッシュバルブ交換	松村工業所
2022/9/22	中央トイレ西側止水栓付近漏水修理	木村工事
2022/10/20	201 号室テレビ更新	マツヤデンキ亘理店
2022/11/21	女子トイレ便座修理（ウォシュレット部分）	木村工事（LIXIL）
2022/11/24	正面玄関うがい手洗い器修理	木村工事
2022/11/24	食堂給茶機修理	ホシザキ東北
2022/12/19	訓練棟給湯器交換	菊長商店
2022/12/20	乾燥機修理（メインバーナー清掃）	アサヒ製作所
2022/12/22	女子トイレ便座修理（ウォシュレット用給水配管交換）	木村工事
2022/12/26	中央トイレ便座修理（電磁弁交換）	木村工事

2023/1/13	事務所スイッチングハブ交換	職員対応
2023/1/19	厨房食器洗浄機修理	ホシザキ東北
2023/1/20	事務室・園長室・支援員カウンターエアコン更新	大光電気
2023/1/26	リネン室蛍光灯交換（LED へ）	遠藤電気
2023/1/31	支援員休憩室エアコン更新	大光電気
2023/2/2	園長室蛍光灯 LED 交換工事	遠藤電気
2023/2/20	浴室　個浴蛇口交換	木村工事
2023/3/2	大型乾燥機修理（ガス電磁弁交換）	アサヒ製作所
2023/3/6～ 2023/3/7	重油地下タンク廃止工事	ﾀｶﾄｼｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
2023/3/10	エコキュート修理（NF 基板・給湯停止弁交換）	日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ
2023/3/27	ボイラー煙突撤去	齋藤工務店

６　その他

（１）補助金

障害福祉施設の原油価格・物価高騰等緊急対策投資促進事業（省エネルギー設備等導入支援事業）補助金 100/100 の交付を受け、管理棟のエアコンを更新及び設置した。

【活動報告】

１．行事

月	行　事	行事食
４	春の散策ドライブ	あんぱんの日
５	５月の散策ドライブ	八十八夜・こどもの日・コロッケの日
６		カルシウムたっぷりご飯
７		七夕・納豆の日・土用丑の日膳
８	静和園夏まつり	バナナの日・立秋・盆の入り・野菜の日
９		十五夜・敬老の日・彼岸入り・お月見御膳
１０	日帰り旅行（障害者福祉協会主催）	ハロウィン
１１	新米を味わう会	文化の日・立冬
１２	障害者の日お楽しみ会	障害者の日お楽しみ食・冬

		至・クリスマス・餅バイキング　年越そば
1	新春ゲーム大会 お餅を味わう会	新年祝い膳・七草粥・鏡開き・カレーの日
2	節分豆まき	節分・バレンタインデー・
3		ひな祭り・彼岸入り
通年	セレクト食、ティータイム、お誕生日者出前	

２．研修

月	研修（外部）	研修（内部）
4		
5		
6		
7	令和４年度塩釜保健所管内栄養士会 障害者福祉施設の原油価格物価高騰等緊急対策等説明会	
8	コロナ感染症対策研修会及び応援職員派遣の体制整備に関する説明会	
9		
１０	安全運転管理者講習会 社会福祉施設・事業所職員向け国内研修	
１１	令和4年度福祉現場におけるリスクマネジメント研修	食事のポジショニングについて 食事介助方法について 食事介助時の観察の視点
１２	オンライン研修会	
1		
2		
3	東北ブロック施設長会議 障害福祉サービス事業者等集団指導 山元町介護保険事業所等従事者研修会 令和4年度　感染症予防対策セミナー	虐待予防に関する研修会（アンケート）

３．実習等受入

新型コロナウイルス感染症予防の為、受入実績はありませんでした。

令和４年度　事業報告
特別養護老人ホーム第二みやま荘（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

【令和４年度総括】

令和４年度は新型コロナウィルス感染症が施設内で発生・拡大した事により、対応職員の人件費や感染予防のための防護服や抗原検査キット等の衛生備品購入により経費が大きく増加した。また、長期利用者の退所が多かった事から短期入所者が長期入所へ切り替わり、更には、短期ユニットにおけるコロナ感染により短期利用者が大幅に減少した事で収入も減少、収支は大きく悪化した。

人材面では、正職看護師の募集を継続して行っているが、応募がなく、１２月から派遣による看護師で対応している。また、介護員においては職員資質向上のため資格取得を奨励し、職員２名が新たに介護福祉士資格を取得した。更に、次年度に向け法人内で介護福祉士資格取得のための実務者研修を行えるよう環境を整備し、より資格取得がしやすい体制を整備した。

施設整備としては、令和３年２月の福島県沖地震による国の災害復旧査定が１０月にあり、その査定内容により工事を進めて、令和５年２月末に完了した。工事総事業費は１３，４６４，０００円で、内補助金額は１０，０１４，０００円となった。

【事業報告】

１　利用の実績

・長期入所

利用者数：延べ９，８５９名、１日あたり２７名、稼働率９３．１％

年　　齢：男性平均８７歳、女性平均９２．３歳、男女平均９０．８歳

介 護 度：平均介護度４．１

入院日数：４９３日

入 退 所：入所者１１名、退所者１１名（死亡退所７名、その他４名）

待機者数：８６名（令和５年３月 31 日現在。昨年比５名増）

・短期入所

利用者数：延べ２，４９１名、１日あたり６．８名、稼働率６８．３％

新規契約者数３３名（緊急短期受入数３名含む）介護予防１名

年　　齢：男性平均８９．７歳、女性平均８７．７歳、男女平均８８．１歳

介 護 度：平均介護度２．２

市町村別：山元町２０名、亘理町６名、遠野市１名（令和５年３月利用者）

２　サービスの向上

（１）介護サービスの充実

コロナ禍で制限のある生活の中でも楽しみや笑顔で生活して頂けるよう、行事や活動を施設内にて実施した。※詳細は活動報告参照

個別のケアプランに基づいた支援を実施し、ＡＤＬの維持向上に努めた。

（２）健康の維持管理

日々の検温や体調観察の他、定期的な健康診断や嘱託医・協力病院医師の往診等により健康状態の把握や異常の早期発見に努めた。

（３）食事サービスの充実

個々の栄養状態や食形態に合った対応を行うとともに、季節感のある食事を提供した。給食委託業者とは定期的な会議により情報の統一や連携強化を図り、一丸となってよりよい食事提供に努めた。

実施食数：年間食数３０，５７４食、月平均２，５４８食、１日平均８４食

食 材 費：８３５円（税込一人当たり）※おやつ、トロミ剤含

栄 養 量：下表の通り

	エネルギー	蛋白質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	食塩
	Kcal	g	g	g	mg	g	A μg	B1 mg	B2 mg	VC mg	g	g
一般食目標量	1,400	60.0	32～42	175～228	650.0	7.0	650.0	0.90	1.10	100.0	17.0	7.0
実　績	1,458	56.8	34.0	222.8	632.0	6.8	618.2	1.08	0.95	94.1	11.9	6.5

（４）看取り介護（長期）

令和４年度もご利用者様の最期まで尊厳ある生活を支援する看取りケアを行った。内部の勉強会により看取りについての基礎知識を学び、ご利用者様やご家族様の気持ちに寄り添い、ご家族様の意向に沿った最期が迎えられるよう支援に努めた。

（５）地域福祉と在宅支援（短期）

在宅でご家族の介護を行っている方への介護負担軽減のため短期入所の受け入れを行った。利用中には生活リハビリを行い楽しみながらＡＤＬ維持を図れるよう努めた。また、施設としての専門性を活かし、身体状況の変化や各種相談に対し迅速にご家族等へ繋ぐ役割を行い、質の良いサービス提供に努めた。

３　安全対策

（１）介護事故

・長期事故２５件（うち、窒息死１件）

（転倒等７件、表皮剥離・内出血４件、服薬ミス９件、異食１件、その他４件）

令和４年度は誤薬・服薬ミスが昨年より多く見られ、転倒等は若干少なくなっている。傾向や対策を分析検討し今後の事故防止に努める。

・短期事故１０件

（転倒６件、服薬ミス４件）

令和４年度は転倒６件と昨年と変わりなかったが、服薬ミス４件と多くなっ

ている。傾向や対策を検討し今後の事故防止に努める。

（２）感染症

新型コロナウィルスの発生予防や感染防止に努めたが、感染者が発生してしまった。発生後は、クラスターにならないように感染対策強化や感染拡大防止に努めた。

（３）防災、防犯対策の強化

定期的な防災設備点検や定期的に実施する総合防災訓練、内部研修として防災について学ぶ機会を設け、職員の防災意識の向上に努めた。

４　資質の向上

（１）研修

コロナ感染者発生に伴い内部研修が行えなかったり、外部の研修への参加もなかなか行えず難しい状況であった。　　※詳細は活動報告参照

（２）資格取得

自己研鑽やサービスの向上のため業務に関連する資格取得を奨励した。令和４年度は２名が介護福祉士に合格した。

５　施設設備の整備

（１）固定資産物品の購入

ノートパソコン２台

（２）修繕

災害復旧工事

６　その他

（１）災害復旧費補助金

令和３年２月に発生した福島県沖地震における災害復旧工事への補助金申請について、ヒアリングが実施され補助額が決定し、令和５年４月に交付を受けた。

【活動報告】

１．行事

月	行　事	行事食
4	お花見ドライブ	LEOC 感謝膳、桜花膳、昭和の日膳
5		八十八夜膳・母の日膳
6	食事会、フラワーアレンジメント	おやじ御膳・あじさい御膳
7		七夕膳・土用丑の日膳
8	夏を楽しむ会	迎え火膳、スタミナ膳
9	長寿を祝う会	長寿祝い膳・楽秋膳＆お月見御

		膳
１０		秋の実り膳・お楽しみ膳（ハロウィン）
１１		立冬膳、千歳御膳、お楽しみ膳
１２	クリスマス会	クリスマス膳・冬至膳 年越そば
1	正月遊び	正月（おせちと粥もち） 新年御膳・七草粥
2	節分豆まき、フラワーアレンジメント	節分膳
3	雛まつりお茶会	雛御膳・春のなごみ膳
通年	選択食、	

２．研修

月	研修（外部）	研修（内部）
4		身体拘束廃止・虐待予防（１０名）
5		脱水予防（９名）
6		オムツの当て方（９名）
7		認知症ケア（３名）
8		
9	・中堅職員研修	痰の吸引（３名）
１０	・中堅職員研修	
１１	・介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修	緊急時の対応（２６名）
１２		緊急時の対応（６名）
1		褥瘡予防（１２名）
2		リスクマネジメント・事故防止（１３名）
3	・山元町介護保険事業等従事者研修 ・岩沼支所管内感染症予防セミナー	看取り介護（１１名）